



発行責任者
校長 猪股 英介

【校長室より】

「VUCA（ブーカ）の時代」

新型コロナウイルスの蔓延や相次ぐ自然災害、急速なテクノロジーの発達など、現代は予測の難しい時代だと言われています。このような時代に必要だとされている考え方にVUCA（ブーカ）というものがあります。教育界でも注目を集めているキーワードです。VUCAとは、4つの単語「Volatility：変動性」「Uncertainty：不確実性」「Complexity：複雑性」「Ambiguity：曖昧性」から頭文字を取って作られた造語です。

変化の激しいVUCA時代には、予測困難な出来事が頻発し、従来の概念を覆す新しい概念や価値観が登場すると言われています。これから予測不能な社会を生き抜く生徒の皆さんには、どのような環境に置かれても、主体的な姿勢でしっかりと歩んでいける人間、試練を乗り越えるたくましい人間、周りから信頼される慕われる人間であってほしいと思います。そういう大きな視点を持ちながら、学習、部活動、学校行事にしっかりと取り組ませることで将来必要な様々な力を培っていきたいと考えています。

現在、高校総体も間近に迫り、30日（火）が壮行式、6月2日（金）は諫早での開会式、3日（土）に競技開始です。学校全体が大会に向けて盛り上がり、各部の大いなる活躍を期待しています。3年生にとっては最後の大会です。精一杯のプレーで悔いの残らないよう全力を出し切ってほしいと願っています。皆様の応援を是非お願いいたします。

ふるさと散策

4月21日（金）、「ふるさと散策」が行われました。この行事は、体力や精神力、そして仲間と助け合う協調性を養うとともに、新入生の歓迎と住み慣れたふるさとを再発見することを目的として行われています。

今年も鬼岳芝生広場を目的地に、往復約13kmの距離を歩きました。新型コロナウイルス感染防止のため、様々な対策をとりながらの実施となりましたが、生徒達は、ふるさととの自然に触れながら、皆元気に歩きました。また到着後は、生徒会執行部や新転任の先生方によるクイズも行われ、全校生徒、職員が盛り上がりました。

以下、生徒会役員の感想を掲載いたします。

1年生は五島高校に入学して初めての学校行事で、鬼岳芝生広場での入場の際には緊張している様子で、その初々しさに2年前の自分たちの気持ちが蘇りました。また、2、3年生もふるさと散策は経験しているものの、新たなクラスになったこともあり、新鮮な雰囲気ですぐ友人と過ごす姿が見られました。

ふるさと散策は、私たち生徒会の任期最後の行事運営で、特にレクレーションに関しては、いろいろと準備をしてきましたが、思うようにいかない部分がたくさんありました。途中、進行が滞りそうになった時は、全校生徒の皆さんに助けを求めたり協力してもらったことで、何とか皆さんに笑顔を届けられたと思います。私たちも反省点は残りましたが、何とか運営をやり遂げて喜びや達成感を得ることができました。本当にありがとうございました。



